

5月8日 大台ヶ原ハイキング

富田 文雄

山名	大台ヶ原ハイキング	山行名	例会
ルート	大台ヶ原ビジターセンター→日出ヶ岳→正木峠→正木ヶ原→尾鷲辻→牛石ヶ原→大蛇岨→シオカラ谷→大台ヶ原ビジターセンター		
山行日	2022年5月8日(日)	天候	晴れ
参加者	リーダー：富田 サブリーダー：上杉 今村、川上、玉井、藤本、蒲田、黒崎、高橋、永江、中井、相川、中田、幾田、西川(洋)、和田 合計：16名		

ルート概略図 	コースタイム			
	地名	時：分	地名	時：分
京田辺	発 6:00	尾鷲辻 牛石ヶ原	着 11:00 発 11:30	
大台ヶ原ビジターセンター	着 9:00 発 9:30	大蛇岨	着 12:10 発 12:35	
日出ヶ岳	着 10:00 発 10:23	シオカラ谷	着 13:30 発 13:45	
正木峠 正木ヶ原	着 10:35 発 10:40	大台ヶ原ビジターセンター	着 14:30	

今回初めてCLを担当しました富田が報告します。よろしくお願いします。

自分が想定した以上の参加者となり、配車手配のご協力もいただき、総勢16名での山行(ハイキング)となりました。(参加締め切り直近にも2名の方から参加希望の連絡をいただきましたが、お断りすることとなり申し訳ありませんでした。)

朝6時に京田辺を出発し、予定より早く9時には、ハイキング起点の大台ヶ原ビジターセンター駐車場に到着、運よく五月晴れにも恵まれました。ゴールデンウィークの最終日で駐車場が一杯ではないか、心配もしましたが、無事、駐車できました。

上記の条件にも恵まれたことから、山行(ハイキング)前事前意識合わせにて、下見後の計画を変更して、大蛇岨も行くこととしました。(希望者も多く、結果として立ち寄れてよかったです。)

快晴ということもあり、日出ヶ岳山頂からは周りの山々の美しい緑の景観、正木峠からは熊野灘の美しい海を見ることができました。唯一、山行の道のりであった大蛇岨では、先端の大きな岩より絶景を拝むことができました。

ハイキングルートにおける感想については、この後、参加者の方より感想文をいただいておりますので、最後に初めてのCLとしての振り返りをしますと、

- ・事前の下見の重要性を感じた。現地現物確認により車山行時の移動ルート、山行ルートにおける時間配分、休憩箇所、トイレ、危険なポイント、エスケープルートを計画する上で助かりました。(SLの上杉さん、元々企画の幾田さんにも大変お世話になりました。)

- ・反省としましては、山行(ハイキング)中、皆さんへの声掛け、写真撮影とかをもっと積極的に取り組むべきでした。

次回のCL、SLでは、今回の経験を活かしていきたいと思っております。

ヒヤリハット なし



日出ヶ岳にて集合写真



正木ヶ原にて



大蛇嶮にて



シオカラ谷にて



正木ヶ原にて



大蛇嶮にて

初めての台ヶ原。登山歴5年で日本百名山32座目です。100まで遠いなあ
京田辺を6時出発し9時には大台ヶ原ビジターセンターに3時間足らずで到着した。案外と近い
もんだなあ と感じた。

花には興味がないが所々咲いているシャクナゲが5月中旬から6月に見頃になるそうです。(かな
なび6月号が発刊される頃には、いい感じになっているのではないのでしょうか)

日出ヶ岳や大蛇ヶ原からの展望は雄大で運が良ければ富士山も見えるらしいです。今回は残念ながら
見えませんでした。紀伊長島・尾鷲方面や熊野灘がすごく近くにあったことに驚きました。

正木峠から正木ヶ原周辺は**白骨林**の名の通り立ち枯れの樹木や倒木が広がっていました。

100年先を見据えて苔むす森を再びという自然の再生を目指して長期的な検証をしているそうで
す。森林が、すぐに再生するわけではありませんが自然が戻る日を願うばかりです。大台ヶ原だけで
なく他の山も皆が大切に大事にしていきたいと思います。

CL、SL計画お疲れさまでした。参加の皆様ありがとうございました。



白骨林が気になって調べました。

白骨林とは、木々が立ち枯れして、まるで白骨のようにみえる林のこと。人為的な原因や酸性雨の
影響などがあげられる。吉野熊野国立公園大台ヶ原の正木ヶ原のトウヒの白骨林が有名である。1959
年9月26日に紀伊半島一帯を襲った伊勢湾台風の影響で暴風により木々がなぎ倒れてしまった。そ
こに人間が木々を運びだしたことが、かえって土壌の乾燥化を招き、笹が繁殖するようになり、結局
残った木々も立ち枯れてしまったと言われている。更に追い打ちをかけるように、鹿の個体数が増え
たことによる鹿の食害(新芽などを食べる)、1961年に大台ヶ原ドライブウェイの開通は登山者数の
増加を招き、現在のような姿になってしまったと言われる。それまでは樹木林で、表土は苔むしてい
るような場所であった。

自然保護のため、2007年9月1日以降は、西大台地区は入山規制が実施されており、平日は30人、
土日祝日は100人とかなり厳しく制限されている。なお、大台ヶ原は屋久島と並ぶ多雨地帯でもあり、
秋の台風シーズンは1日の降雨量が300mmを超えることが多いと言われている

今村 ひとみ

久しぶりの1000m超えの山にわくわくして迎えた当日。車で到着した登山口のある駐車場、大台ヶ
原ビジターセンターはすでに標高1570mもあるので面白い。車山行なので車とドライバーさんが相
当頑張ってください。スタートから40分も歩くと本日の最高地点である日出ヶ岳に到着。標高
1695mで360度の展望とそびえ立つ高い山並みが美しく雄大で、熊野灘までも見渡せたのには感動し
た。また、噂の大蛇ぐらは足が竦んだが、先端からの絶景は見る価値があった。ここは日本有数の多
雨地帯らしいが、今回も晴れ女の威力か、雨予報を変更させての晴天だった。

CL、SL、担当の皆様の緻密な登山計画のお陰で安全で楽しい登山ができたことに感謝いたします。
ありがとうございました。